

2024年5月8日

各 位

東京都台東区上野 1 丁目 15-3

 会 社 名 **株式会社 ナガホリ**

 代表者名 代表取締役社長 長堀 慶太
 (コード番号 8139 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 吾郷 雅文
 (TEL. 03-3832-8266)

令和6年3月期通期の業績予想の上方修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和6年2月9日に公表いたしました令和6年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。併せて、令和5年5月12日に公表いたしました令和6年3月期の期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 令和6年3月期の連結業績予想数値の修正 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,500	700	645	300	19.56
今回発表予想 (B)	21,820	1,022	998	519	33.84
増減額 (B - A)	2,320	322	353	219	
増減率 (%)	11.9	46.0	54.7	73.0	
(ご参考) 前期実績 (令和5年3月期)	17,673	547	537	60	3.96

(2) 修正の理由

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことで個人消費は持ち直しの動きがみられました。一方、円安や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等のジュエリー商品への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。「メゾン ナディア」の銀座の路面店や「スカヴィア」の帝国ホテル東京本館1階店舗での営業展開とともに、商品力強化のための広告宣伝、新たに名古屋地区の百貨店店舗事業への出店等、販売増に取り組みました。また、財務の安定のため当座貸越契約を継続しつつ、販売増につながる商品仕入や販売催事の積極展開等への支出により販売強化を図りました。もう一方で、金製品の需要拡大のなか、小判のヒット商品に恵まれ

たことや旺盛な海外需要への対応、グループ内での販売商品製造強化、地金製品販売や小売店舗販売などのグループ子会社各社の販売展開においても好調に推移しました

これにより、売上高が予想を上回り、売上総利益も予想を上回り、販売費及び一般管理費も予想を若干上回りましたが、営業利益は予想を大きく上回り、営業外損益はほぼ想定どおりに推移したことで経常利益も予想を上回ることとなりました。また、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、ほぼ同時期に当社株式を急速かつ大量に買い集めている状況を踏まえた緊急対応及び関連する株主対応等に係るアドバイザー費用を特別損失に計上しましたが、経常利益の増益等を受け、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を上回る見込みであります。

以上の結果、令和6年3月期通期の連結業績予想を上方修正することになりました。

2. 配当予想の修正

(1) 令和6年3月期の配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (令和5年5月12日発表)	0.00	8.00	8.00
今 回 修 正 予 想		13.00	13.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (令和5年3月期)	0.00	5.00	5.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対し安定した配当を継続して行うことを配当の基本方針としつつ、配当性向40%を目安としております。当期も、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、ほぼ同時期に当社株式を急速かつ大量に買い集めている状況を踏まえた緊急対応及び関連する対応等に係るアドバイザー費用の支出がありましたが、連結当期純利益の予想に基づき、期末配当として1株当たり13円を実施する予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以 上